



古都だより

NVB INFORMATION

※文章・画像等の無断転用はお断りします

あけまして おめでとうございます

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、当財団へのご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨年は、長期化するコロナ禍の影響に加えて、物価の高騰もあり厳しい一年でありましたが、観光業界においては、夏以降急速に訪日観光の回復が高まってきており、2024年にはさらなる発展が期待されています。当財団といたしましても、引き続きより多くの国内外の観光客が訪れていただけるよう、今後も奈良の豊かな歴史や伝統的な文化に触れることができる魅力的な観光地として、また将来にわたり持続可能な観光地として、観光を通じて地域経済の活性化に努めてまいります。

本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



【慈光院本堂天井の雲龍図】

事業のトピック

1. 観光庁選定事業

◆ 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業

モデル観光地の一つとして、観光庁から「紀伊半島」が選定された本事業が、本格的に紀伊半島ブランド化に向けて始動しております。

2023年11月25日(土)に東京で開催されたラグジュアリートラベルに特化した英国最大の旅行業界メディア「Aspire」が主催する商談会に「紀伊半島」として出展し、23社のラグジュアリー層の顧客を持つエージェントやサプライヤーと商談を実施いたしました。

その後、11月27日～29日にかけて、商談会に参加されたエージェント、サプライヤー14社14名とメディア1社4名の合計18名を招請し、「紀伊半島」を3コースに分けて視察ツアーを実施。ラグジュアリー層を顧客に持つエージェントの生の声を評価として得ることができました。特に、瀨峡クルージング、高野山宿坊、熊野古道、真珠体験など「紀伊半島」でしか体験できない「本物の体験」に対して高い評価をいただきました。今後も「紀伊半島」のプロモーションに尽力してまいります。

<視察コース>

奈良コース: 市内ラグジュアリーホテル視察/檀原神宮/金峯山寺/瀨峡ナイトクルージング/十津川大踊り体験/めはり寿司体験/玉置神社/熊野本宮大社 等

三重コース: 伊勢海女小屋/真珠体験/クルージング/伊勢神宮/鬼ヶ城/熊野古道/花の窟/熊野那智大社/ホテル視察 等

和歌山コース: 高野山/宿坊/精進料理/熊野本宮大社/熊野古道/マクロセリ体験/ヘリクルージング/ホテル視察 等



真珠体験&クルージング (三重)



瀨峡 (奈良)



那智熊野大社 (和歌山)

◆「地域一体型ガストロノミーツーリズムの推進事業」(続報)

前号でも紹介しました観光庁「地域一体型ガストロノミーツーリズムの推進事業」を実施しています。今回は、公益社団法人ソーシャルサイエンスラボに委託し、体験プログラムを開催した内容をご報告します。

《1》ガストロノミーディナーイベント

県内の3ヶ所のホテルで、3タイプのディナーイベントを開催しました。

【モデル①】地域の顔となる名門ホテルや国内外の富裕層向けクラスのホテルでのラグジュアリーなガストロノミーディナー

10月22日に奈良ホテルで、奈良豊澤酒造(株)社長の豊澤氏による奈良酒のこだわりや美味しさの秘密などの貴重なお話と、奈良ホテルが今回の企画のために特別に用意した料理を楽しむイベントを開催。18名(内外国人7名)が参加されました。発酵過程でクラシック音楽を聴かせた日本酒造りに挑戦し、2022年開催の第7回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラムのウェルカムレセプションで、参加者から高い評価を得た酒「奈音」も特別に用意され「奈音」に聴かせた音楽を含む4曲がファゴットとピアノの生演奏で奏でられました。



【モデル②】中規模以上のバンケットを持つホテルでの文化体験プログラムも組み合わせた形のガストロノミーディナー

11月5日にホテル日航奈良で、日本で唯一の一子相伝により技を受け継いできた和北堂の二十代茶筌師・谷村丹後氏が、茶道と道具について語る講演と茶筌づくりの実演・体験など、他では体験できないオリジナル限定イベントを開催。18名(内外国人7名)が参加した会場には油長酒造(株)の「風の森」日本最古の酒母を使った「鷹長」が用意され、社長の山本氏からは日本清酒発祥の地・奈良の酒造りの歴史についてのお話をうかがいました。



【モデル③】ゲストに寄り添い企画を展開する“まちのホテル”が行う地域の歴史に触れ・交流や対話を愉しむガストロノミーディナー

11月20日にホテルアジュール奈良で、日本の伝統を体感できる和服を着て、日本酒と料理を楽しむプログラムを開催。37名(内外国人16名)が参加され、稲田酒造の革新の酒「稲乃花」シリーズと独特な熟成で醸した超限定酒「琥珀」を中心に、トークも併せてユネスコ無形文化遺産「和食」「出汁」をテーマにした料理とのマリアージュを楽しんでいただきました。



《2》日本一の柿の里バスツアー

11月23日に五條市で開催された「柿の里まつり」に参加し、地元農家レストラン「農悠舎 王隠堂」の柿畑で、柿の収穫体験と地元の野菜や柿を使い、地元の女性たちが腕をふるったランチを楽しんでいただきました。18名(内外国人5名)が参加。

また、五條源兵衛(五條本町)のオーナーシェフ・中谷氏プロデュースの、地元の五條酒造(五神)や山本家(柿ワイン)と柿加工の石井物産(当日は柿の奈良漬と柿ジャム、柿バター)の素材を活用した、地域食材と地酒のペアリング体験は柿づくしのレシピで仕上げたピンチョス風のおつまみと絶妙なトークでワークショップ風を実施され、地域一体となったガストロノミーツーリズムを体感する場となりました。



2. インバウンド旅行商品販売事業

◆ JNTOドバイ

インバウンド旅行事業が運営する「KANSAI NARA Treasure Travel」では、従来より高付加価値をテーマに、地域への経済効果の高いマーケットへ、量より質を重視した旅行を企画・販売しております。

11月1日と2日に、JNTO（日本政府観光局）ドバイ事務所の要請を受け、アラブ首長国連邦のインフルエンサー招聘事業にて奈良地域のコーディネーターを担当いたしました。

1日目は、伊勢志摩よりヘリコプターで来寧した一行を長谷寺へご案内いたしました。同寺にてSNSなどを活用し情報発信を行う瀧口師の案内で境内を拝観した後、茶室「茄藻庵（そうかあん）」にて本格的なお茶席をご案内。その後は参道に位置するレストラン「やまと薬膳」にて昼食をアレンジ。宗教上の理由で食事制限のあるイスラム教の方にも安心してお食事いただける精進料理を体験いただきました。

2日目は、(株)古梅園のご協力のもと、当財団の特別企画である揮毫（きごう）体験を行い、書道において重要な墨が、どのようにして個体から液体に変化するのかの過程を体験していただきました。イスラム文化圏にも字を美しく書く文化があるとのことで、大変興味深くご見学いただきました。

その様子を日本経済新聞社にも取材いただき地方における高付加価値旅行の取り組みとして記事(2023年12月8日掲載)にて紹介いただいております。

今後も、「KANSAI NARA Treasure Travel」では、地域の人・産業との交流をテーマに、単なる体験ではない一歩踏み込んだ企画を展開し、量より質にこだわったオーダーメイド型の旅行を企画・販売いたします。



KANSAI NARA Treasure Travel

3. 地域連携DMO推進事業

◆ 奈良県ビジターズビューロー南和支部の事業活動支援「旅サラダEXPO」

県南部への誘客促進を目的に、奈良県ビジターズビューロー南和支部が主導して事業活動支援を行っております。

11月3日～5日の3日間、大阪市北区・グランフロント大阪のうめきた広場で行われた「旅サラダEXPO2023」に「奈良・奥大和フェア」と称し南部の地域産品の物販、地元の食材を使った食事を提供し、多くのお客様にPRを行うことができました。

1日目は猪肉を使ったぼたん鍋と串こんにゃく、2日目は鮎の塩焼きと地域のお酒、3日目は多くの地域産品の物販と、様々な角度から地域の魅力を感じていただける3日間となりました。

3日間で45,000人に迫る来場者数を記録し、ブース前は大盛況でした。一定額以上ご購入いただいたお客様には、地域を訪れて楽しんでいただくことのできる宿泊券や入浴券などが当たる抽選会にご参加いただきました。こちらも大盛り上がりとなり、これをきっかけに「現地を訪れたい」という声も聞かれました。今後も南和支部の事業活動支援を通じて、南部への誘客促進を図りたいと思います。

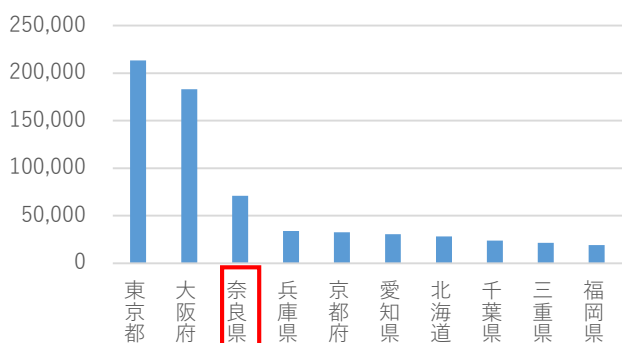


◆ あをによし なら旅ネット <奈良県観光公式サイト>

当財団が運営する奈良県観光公式サイト「あをによしなら旅ネット」では、10月～12月半ばまでのカテゴリー別アクセスランキング(図2)を見ると、コスモスや紅葉など関連した施設・イベントへのアクセスが多く、特にコスモスの時期の藤原宮跡とススキが有名な曾爾高原へのアクセスが伸びました。

都道府県別訪問者数TOP10(図1)を見ると東京や大阪といった都市部からのアクセスが多く、こうした層が奈良の自然や季節の花の情報に高い関心を持っているものと思われます。

(図1) 都道府県別訪問者数 TOP10(2023年10月1日～12月15日)



今後も自然や季節の花、それに関連するイベント情報を迅速かつ正確に掲載していくことで奈良県の観光促進につなげてまいります。

リアルタイムな情報の提供や登録のご協力を願います。

<あをによしなら旅ネット>

<https://yamatoji.nara-kankou.or.jp>



(図2) カテゴリー別アクセスランキング

期間	順位	施設名	PV数
10月	1位	曾爾高原(曾爾村)	66,786
	2位	馬見丘陵公園(河合町)	9,901
	3位	藤原宮跡(橿原市)	9,420
	4位	法隆寺(斑鳩町)	8,446
	5位	みたらい溪谷(天川村)	6,268
11月	1位	曾爾高原(曾爾村)	63,389
	2位	法隆寺(斑鳩町)	8,309
	3位	龍穴神社(宇陀市)	6,658
	4位	みたらい溪谷(天川村)	5,974
	5位	石舞台古墳(明日香村)	4,458
12月 15日まで	1位	曾爾高原(曾爾村)	6,502
	2位	龍穴神社(宇陀市)	3,878
	3位	法隆寺(斑鳩町)	2,317
	4位	石舞台古墳(明日香村)	1,361
	5位	飛鳥寺(明日香村)	1,215

期間	順位	イベント名	PV数
10月	1位	馬見フラワーフェスタ(馬見丘陵公園)	4,579
	2位	【中止】曾爾高原山灯り(曾爾高原)	4,346
	3位	夢殿観仏・救世観音菩薩立像(法隆寺)	3,910
	4位	ライトアッププロムナード・なら2023	3,252
	5位	広陵かぐや姫まつり(竹取公園)	2,676
11月	1位	【中止】曾爾高原山灯り	7,650
	2位	夢殿観仏・救世観音菩薩立像(法隆寺)	4,735
	3位	ピクニックフードフェスティバル秋(馬見丘陵公園)	4,610
	4位	紅葉ライトアップ(岡寺)	4,595
	5位	ライトアッププロムナード・なら2023	4,335
12月 15日まで	1位	春日若宮おん祭(春日大社)	2,284
	2位	夢殿観仏・救世観音菩薩立像(法隆寺)	880
	3位	奈良仏像カレンダー2024の販売について	784
	4位	ライトアッププロムナード・なら2023	717
	5位	馬見クリスマスウィーク(馬見丘陵公園)	645

期間	順位	施設名	PV数
10月	1位	コスモス(藤原宮跡)	15,931
	2位	ススキ(曾爾高原)	13,617
	3位	コスモス(般若寺)	10,093
	4位	コスモス(法起寺周辺)	7,588
	5位	ススキ(葛城高原)	2,738
11月	1位	ススキ(曾爾高原)	9,459
	2位	コスモス(般若寺)	2,531
	3位	コスモス(藤原宮跡)	1,670
	4位	紅葉(岡寺)	1,250
	5位	コスモス(法起寺周辺)	1,162
12月 15日まで	1位	ススキ(葛城高原)	757
	2位	紅葉(等彌神社)	215
	3位	寒牡丹(石光寺)	212
	4位	紅葉(岡寺)	210
	5位	紅葉(壺阪寺)	156

4. 魅力ある観光地域づくり促進事業

◆ 「知れば知るほど奈良はおもしろい」

今年度も「知れば知るほど奈良はおもしろい」実行委員会主催の観光地マーケティング研修会を2月に開催します。

昨年度までに習得した観光地マーケティングの基本スキルや実践的な活用方法についての知識を活かして地域ごとの戦略構築や課題解決を図るため、地域を絞り、研修を実施いたします。具体的には、市町村単位や同地域内の複数の市町村などにおいて、効果的な連携方策の検討を狙いとし、地域別課題解決および戦略検討会を実施します。

今年度の新たな研修手法として、北部、中部、南部の地域に分けて、それぞれの地域が抱える具体的な課題を実際に解決し、地域に特化した戦略を検討する実践的な研修を実施してまいります。

◆「レストランバスで行く旬を食する度」の試乗会

(株)エイチ・アイ・エス主催の奈良県初レストランバスツアーの企画造成を行いました。1階がキッチン、2階が座席というレストランバスの試乗会は、五條市と奈良市の2コース実施。各コースの参加者からのレポートを掲載いたします。

《五條市コース（11/25実施）》

2階建てバスの2階部分が座席になっており、4人掛けのテーブルが7つあります。窓はガラス張りで、天井を開放するとオープンバスになります。JR奈良駅から五條まで約1時間。道中、車窓の景色を楽しみながらきれいに盛り付けられた和食に舌鼓。メニューは地元の旬の食材を使った料理や柿の葉寿司など、奈良らしさにあふれ、地酒や柿ワインとのペアリングを楽しめました。「日本一の柿のまち」五條に到着すると、柿博物館と柿農園を訪れて、柿の知識を深めながら旬の柿を試食。その後、江戸時代の街並みが残されている五條新町に移動。通りにある300年続く造り酒屋の山本本家では十代目蔵主の案内で試飲。お酒を飲めない人には柿甘酒が出されました。帰路の車内ではゆう麺とデザートが振舞われ、JR奈良駅に到着するまで奈良の魅力を感じ続けることのできるツアーでした。



《奈良市コース（12/3実施）》

ツアーのテーマは「発酵」。最初の目的地である奈良公園までは、天井が開いたバスに乗るといった面白い体験ができました。森奈良漬店では創業150年の雰囲気を感じます。なんと鹿も並んでいました！バス内ではお料理のスタートです。大和野菜のバーニャカウダをひしおソースで楽しみながら、イゲタ醤油の井上本店へ。醤油の作り方やどんな料理にどんな醤油が合うかの説明をしていただき、工場では美味しい醤油と味噌の試食ができました。再びバスに戻ると、たこのぬかづけカルパッチョや奈良漬を使ったポテトサラダなどがあり、奈良漬が苦手を買わなかったことを後悔するほどの素晴らしい味付けでした。豊澤酒蔵では時間が足りず、工場の一部しか見学はできませんでしたが、美味しいお酒をたくさん試飲。本来なら酒蔵のスタッフしか試せない、しぼりたてのお酒まで飲ませていただくという大変貴重な体験ができました。お料理はメイン料理のヤマトポークと野菜を美味しくいただき、その日の最終目的地である正暦寺へ。正暦寺は清酒発祥のお寺で住職さんにその歴史を教えてくださいました。最後に、デザートをゆっくり楽しみ、5時間半があっという間に過ぎました。

美味しいお料理をいただきながらガイドの説明を聞き、そして観光しながら新しい知識も身に付けることのできるツアーです。もっと奈良が好きになるそんな贅沢な時間でした。



◆「世界遺産 春日大社」特集 ～春日若宮おん祭～



【お渡り式】

古都の師走を彩る春日大社摂社・春日若宮の例祭「春日若宮おん祭」（重要文化財）は、平安後期の1136年、時の関白・藤原忠通が、天下泰平、五穀豊穡などを願い大和一国を挙げて執り行って以来、一度も途切れることなく、昨年で888年を迎えた伝統行事です。

旅行特別企画では、おん祭当日の12月17日午前零時、若宮様をお旅所へお遷しする神秘的行事「遷幸の儀」、お旅所へお遷りの若宮様に朝の御饌をお供えし、神楽を奉納する「暁祭」へ参列、午後には古式装束に身を包んだ約千人が練り歩く「お渡り式」、神楽や猿楽、舞楽等芸能の数々を奉納する「お旅所祭」を觀賞いただきました。

祭りの見どころの「お渡り式」は、新型コロナ蔓延時期には規模を縮小して執り行われていましたが、昨年は5年ぶりに通常規模での開催となり、華やかな行列に参加者は見入っていました。

◆ 「うまし奈良めぐり2024」

知らなかった奈良を遊ぶ！知る！体験 うまし奈良めぐり実施中！

奈良の歴史ある社寺に伝わる秘宝・秘仏、通常は立ち入れない建物の拝観に加え、神職や僧侶のご案内で巡るプラン、伝統行事やグルメなど、誘客促進に繋げる観光ツールとして普段では味わえない魅力満載のプランを一部ご紹介します。

事前申込み必要！ お申込みはWEBが便利です！

※最小催行人数に満たない場合、開催日の10日前までに中止する場合があります。

※開催日の4日前に受付を終了します。

<うまし奈良めぐり>

<https://yamatoji.nara-kankou.or.jp/nara-umashi/>



《唐招提寺》

通常非公開の重要文化財「礼堂」を特別拝観

金堂、講堂を拝観後、通常非公開の礼堂（重要文化財）にて鑑真和上の真骨の仏舎利を間近で拝観。

1/21(日), 1/27(土), 2/11(日), 2/21(水), 3/9(土), 3/10(日)
10:00/14:00 (所要時間: 約60分)

参加費: 大人3,600円・高校生以下2,500円

【最少催行人員】5名

《石上神宮》

最古の宮の国宝拝殿に昇殿 禁足地の特別拝観も！

通常昇殿できない拝殿(国宝)の参拝。神職のご案内で大神様の鎮座地である禁足地を特別に間近から拝観。

1/16(火)以降から3月までの日曜・月曜・火曜日
※除外日: 2/11(日), 2/18(日), 2/19(月)

13:00 (所要時間: 約60分) 参加費2,000円

【最少催行人員】3名

《慈光院》

一汁三菜 気軽なお茶事 ちょっと体験してみませんか

禅寺で旬の野菜で心身を養う精進料理をいただく、一汁三菜の気軽なお茶事体験をご用意。

2/4(日), 2/5(月), 3/3(日)~3/5(火)

11:00 (所要時間: 約120分) 参加費: 10,000円

【最少催行人員】2名

《橿原神宮》

御本殿近くで行われる「月次祭」に参列

通常入ることができない御本殿間近で月次祭に参列後、勅使が参籠・潔斎する通常非公開の勅使館を拝観。

1/21(日), 2/1(木), 2/21(水), 3/1(金), 3/11(月), 3/21(木)

9:50 (所要時間: 約130分) 参加費: 3,500円

【最少催行人員】3名

《法隆寺》

世界遺産を参拝 僧侶のご案内で贅沢な2時間

中国や朝鮮にも残存しない世界最古の木造建築物群を有する西院伽藍や大宝蔵院などをご案内で拝観。

1/28(日), 2/11(日), 2/18(日), 2/25(日)

10:00 (所要時間: 約120分)

参加費: 大人3,000円・小学生2,000円

【最少催行人員】10名



《金峯山寺》

修験僧侶(山伏)と金峯山寺内諸堂一日ミニ修行

修験僧侶と勤行。食事作法(じきじさほう)を体験し、護摩供や法話を拝聴しながらミニ修行。

2/24(土), 3/2(土)

10:30 (所要時間: 約300分)

参加費: 5,500円

【最少催行人員】10名



◆ かしはらナビプラザ

「イルミネーションinかしはら」コラボレーション装飾展示を実施

毎年12月から1月の2ヶ月間、橿原市の近鉄大和八木駅周辺で冬の風物詩として光の祭典「イルミネーションinかしはら」が開催され、今季は「光り輝く未来を共に一橿原の冬」をテーマに光の織りなす幻想空間が広がっています。

「かしはらナビプラザ」も同イベントに協賛し、期間中は施設内外にイルミネーションの展示を実施しており、特に2階イベントスペースでは「なら瑠璃絵実行委員会」とのコラボレーション企画によるイルミネーション装飾を展開中です。

冬のこの時期限定の特別企画にぜひお立寄りください。



◆ アンテナショップ

「奥大和フェア」の開催



前回ご好評をいただいた奈良県南和地域の地場産品フェアを、昨年9月30日(土)~10月31日(火)までの約1ヶ月間、南和全ての12市町村にご参画いただき、「奥大和フェア」として開催いたしました。

約70種類の商品の中には、「大淀町の梨フィナンシェ」や、「野迫川村のあまごの甘露煮」等、何度も売り切れてしまうほど人気の商品もあり、それを目的に何度もご来店して下さるお客様もいらっしゃいました。当アンテナショップでは7月から地場産品の取り扱いを増やし、販売エリアを大幅に拡大しています。お取扱い可能なおすすめの商品等がございましたら、ぜひご連絡ください。

5. MICE誘致・開催支援事業

◆ コンベンション開催誘致支援事業

コンベンション開催誘致支援事業の1つに助成金制度がありますが、特に申請の多い「奈良らしいMICE開催助成金」をご紹介します。

「奈良らしいMICE開催助成金」とは、県内で開催される学会などの主催者に対し、県内で開催される観光ツアーや体験プログラムなどに必要な資金の一部を支援する制度です。この助成金は、奈良県の魅力をPRし宿泊の促進を図り、誘客に貢献することを目的としています。前年度に引き続き、ハイブリッド会議の開催に伴う諸経費の一部支援も行っています。新型コロナが5類感染症に移行したことで、昨年度は懇親会を行う学会が増えました。特に、懇親会で行われるアトラクションにおいて、奈良の地酒を楽しむことができる利き酒・鏡開き、また日本の古典音楽である雅楽の演奏やワークショップは高い人気でした。

《助成対象及び限度額》

種類	限度額
アトラクションプログラム	10万円を限度とし、支払額の2分の1に相当する額
エクスカージョンプログラム	10万円を限度とし、支払額の2分の1に相当する額
体験プログラム	8万円を限度とし、支払額の2分の1に相当する額
ハイブリッド会議(オンライン配信に係る経費等) ※【C】のみ	10万円を限度とし、支払額の2分の1に相当する額

※諸条件有。詳しくはお問い合わせ下さい

6. お知らせ

◆ 奈良ファン倶楽部

奈良ファン倶楽部では、特別な限定企画で、神職や僧侶、あるいは伝統を受け継ぐ人々から、普段では聞かないお話等、奈良をより楽しめる「解説付き特別拝観」を開催しております。

1月26日(金)は、「橿原神宮を渡る風」と題し、橿原神宮宮司 久保田 昌孝 氏のお話、3月6日(水)は、「十一面観音悔過法要『お水取り』」と題して東大寺長老の筒井 寛昭 師によるお話など、特別企画が満載です。どちらも過去に多くの皆様からご好評いただいている企画で会員様以外の参加も可能です。お申し込みをお待ちしております。

<奈良ファン倶楽部>

<http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/fanclub/>



橿原神宮を渡る風

※一般参加可能

講師：久保田 昌孝 氏 (橿原神宮 宮司)

【開催日時】2024年1月26日(金)

【開催時間】14:00~16:00 ※集合13:50

【開催場所】橿原神宮会館

【参加費】3,000円

【申し込み】<https://x.gd/6xfJs>

十一面観音悔過法要『お水取り』

※一般参加可能

講師：筒井 寛昭 師 (東大寺 長老)

【開催日時】2024年3月6日(水)

【開催時間】15:00~17:00 ※集合14:45

【開催場所】奈良公園バスターミナルレクチャーホール

【参加費】会員：3,000円 一般：4,000円

【申し込み】<https://x.gd/NN5zJ>

◆ 2024年版 奈良仏像カレンダー 販売継続中

1月31日まで!

「大和のみほとけ一心蓮(しんれん)」2024年版カレンダーのテーマは「心蓮」です。清らかな心で一年を過ごすことを願っており、新しい年の始まりに仏像の魅力を感じていただくと幸いです。

当財団会員の皆様へは特別価格をご案内いたしますので、この機会にぜひご利用ください。



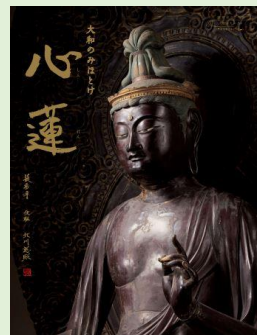
●一般販売価格 1部 2,000円(税込)

●賛助会員特別価格 1部 1,500円(税込)

●2023年度奈良ファン倶楽部会員優待価格 1部 1,500円(税込)

●送料 送付先1件ごと800円(北海道・沖縄2,200円)

●配送方法 宅急便にて発送



【2024年版カレンダー】

<奈良仏像カレンダー発売情報>

https://yamatoji.nara-kankou.or.jp/04public/03hall/01north_area/fr2idzltb9/event/q6kc8dz2ul/

新規賛助会員募集中!

当財団では、事業をサポートしていただける賛助会員を募集しております。

※会員の皆様には、ホームページでのご紹介、会報誌の送付など観光・コンベンションに関する情報を提供しております。

問い合わせ ☎0742(23)8288

